



令和5年9月1日現在

世帯数	1,015	戸
人口	2,314	人
男	1,146	人
女	1,168	人

## ササラまつり

8月14日(月)に「内田サ

サラまつり」が内田公民館、内田地区福祉ひろばで開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年度から中止が続き、実に4年振りのササラまつりとなりました。台風の接近により天気心配され、にわか雨には見舞われたものの、概ね過ごしやすいたちとなり無事に開催することができました。



▲行列のやさそばの舞台裏



▲ササラ踊り



▲打ち上げ花火

今回も明善中学校の皆さんがボランティアとして協力してくれました。テントの設営から始まり屋台での調理や接客まで、慣れない事も多かったと思いますが、笑いを交えながら元気に仕事をしてくれました。

事前イベントでは、わたあめ、かき氷、飲料、とうもろこし、すいかの提供がありました。いずれも夏まつりの定番アイテムです。「甘くておいしい」「おまつりらしくていいね」など子どもたちも喜んでる様子でした。

やがて日が暮れ始めると開会式が行われ、いよいよササラ踊りが始まりました。福祉ひろば北側駐車場でササラ踊り実行会の皆さんの演奏に合わせて、ササラを手に子どもからお年寄りまで一緒に踊りま

した。素朴で懐かしい伝統の踊りです。

ササラ踊りの発祥は定かではありませんが、一説には700年前の鎌倉時代、この地の牧場から朝廷に多くの馬を献上したことが背景にあり、飼育した愛馬との別れを惜しむかのような身振り手振りが始まりといわれています。また、昭和10年代に現在の歌詞が作られたとの話を実行会長さんから聞いていただきました。

古くから伝承されてきた盆踊りも戦争などにより途絶えてしまった地区が多いですが、内田ではササラ踊りが保存されてきました。昭和51年には松本市重要無形民俗文化財に指定され、保存会活動を通じて現代に伝承されています。

ササラ踊りが終わると、やさとり、やさそばが提供され、多くの方が行列に並び盛況となりました。日が沈み、閉会式の最後には打ち上げ花火が実施されました。内田から上がる花火を近くから見物する人、動画を撮影する人など様々でしたが、4年振りのササラまつりも無事終了となりました。

貴重な交流の場であるこの催しが、また来年以降も無事に開催できることを心より願っています。

館報編集委員 中島源

## 内田地区 球技大会

7月9日(日)に内田地区球技大会が開催されました。今年は、多くの世代が楽しめる「ポッチャ」を種目に加えました。前日の雨の影響でグラウンドが使えず、軟式野球は中止となりました。ペナントでトロフィーが見えなくなってきたため今年を取りきりにし、来年は新しいトロフィーを作る予定です。

結果は次のとおりです。

- ◆ゲートボール
  - 優勝 第9町会
  - 準優勝 第6町会
  - 第三位 第5町会
- ◆ソフトバレーボール
  - 優勝 第6町会
  - 準優勝 第3町会
  - 第三位 第2町会
- ◆ポッチャ
  - 優勝 第5町会
  - 準優勝 第8町会
  - 第三位 第2町会



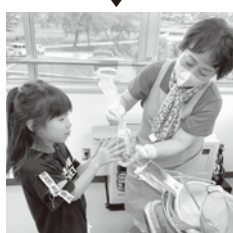
▲ソフトバレーボール優勝の第6町会

## 子ども防災合宿

7月28〜29日に「子ども防災合宿」が内田公民館で開催されました。この行事は地域で災害が発生した時の対応を子どもたちが学ぶ機会として、町会役員による実行委員会の主催で行われています。

今年は小学校1年生から中学校1年生までの合計16人の参加があり、災害救助用炊飯袋(ハイゼックス)を利用したカレーライス作り、避難所を想定した宿泊体験等に取り組みました。実際の避難所でも使用されるダンボールベッドを組み立てて、寝てみる体験も行われました。

ハイゼックスに具材を入れます。



▲カレーの材料は自分で切ります。

# 水生昆虫観察会

8月8日(火)に「水生昆虫観察会」が内田公民館で開催され、小学生を中心に28人が参加しました。

「松本ホタル学会」代表の藤山静雄先生(信州大学理学部特任教授)から環境と生き物に関するお話を聞いた後、塩沢川で水生生物を捕まえて公民館で観察を行いました。子どもたちの感想の一部を紹介します。

カニの赤ちゃんは、おやがニとちがう体をしてた。カニの赤ちゃんは3ミリぐらいでした。赤ちゃんが生まれるところを見てよかった。



▲みんなで協力して捕まえました。

# 東南ブロック球技大会

8月27日(日)、第48回東南ブロック球技大会が開催されました。

この大会は、東南ブロック6地区(芳川・寿・寿台・内田・中山・松原)の参加者の親睦と、体力向上および社会体育の振興を目的として実施しているものです。



▲卓球の部 女子ダブルス

●内田地区の結果は次のとおりです。  
新卓球 6位  
バドミントン 2位  
マレットゴルフ男子 3位  
軟式野球 2位  
※ソフトバレーボールは、地区混合チームに内田から1名参加しました。

# 昔の道具にさわって江戸時代にタイムスリップ 「昔のくらしを考えてみよう」

8月3日(木)に馬場家住宅、寿台図書館、内田公民館による学習講座が開催され、10人の小学生が参加しました。

子どもたちは、馬場家住宅を探検し、見つけた「ふしぎ」をシートに記録した後、みんなで本を使って調べました。紙芝居から、昔の暮らしを想像し、蚊帳や行灯の体験、昔



▲みんなで本を使って調べもの

の道具に触れて、江戸時代へのタイムスリップ気分を味わい、学びました。

参加者からは、「歴史はあまり好きではないけど、今日は楽しかった。」という声がありました。



▶屋根瓦についている家紋は何のはっぱかな?

# 紙折り機導入のお知らせ

内田地区町会連合会から「紙折り機」を内田公民館に設置いただきました。

これは「松本市地域づくり推進交付金」を活用したものです。紙折り機は、どなたでも無料でご利用いただけますので、ぜひご利用ください。



# つれづれ編集記

夏といえば、海、スイカ、お祭りなど連想されるものが数多くあります。その中でも花火は代表的な夏の風物詩とされています。

日本における花火のはじまりは、1589年7月に、のちに仙台藩主となる伊達政宗が花火を見たという記録があります。また、その24年後の1613年8月には、前將軍の徳川家康が江戸城で手筒花火を見たとの記録も残っています。

なお、花火大会のはじまりは、隅田川花火大会の起源となされる1733年の「両国の川開き」といわれていますが、これには諸説あるようです。

現代でも花火大会の多くは夏に行われています。慰霊や悪疫退散を祈願するといった理由もあるのかもしれませんが、夏の夜に花火を眺めて涼むことに風情を感じる人が多いため、今も昔も人々に愛好されているのではないのでしょうか。